



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

国際主題 Audere est Facere - To dare is to do とにかくやろう - 成せば成る
アジア区主題 To dare is to do とにかくやろう - 成せば成る
西日本区主題 ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献 理想を目指して変革と行動！
京都部主題 志を共有し、小さな一歩大きな前進 ~ 思いやりと感謝の気持ちで粘り強く~
メネット主題 メンと共に歩める喜び

会長主題

全ての者が
一つと成る為に

みんな仲間
生涯の友となろう！

会長	岡西 博司
副会長	小野 敏明 三村 良行
書記	西村 博
会計	荒木 利彦

父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人
を一つにしてください。彼らもわたしたちの内にいるようにしてください。そうすれば、
世は、あなたがわたしをお遣わしになったことを、信じるようになります。

ヨハネによる福音書17章21節



「第26代会長の思い」

会長 岡西 博司

京都プリンスワイズメンズクラブ代26代会長に成らして頂いた
岡西博司です。僕は、恥ずかしながら2回目の会長をさせて頂く事
になりました。一回目は、第7代の会長として、今から19年前にさせて頂きました。
その当時、クラブメンバーは42名でスタートしています。私も若くて、43歳でした。
メンバーもみんな若くて澁刺としていたように思います。私自身も、仕事にワイズに
遊びにと、日々忙しくしていました。クラブの先輩たちの家に行くと、皆立派な部屋
(ワイズ部屋)を持っておられ、僕も早く家を持ち、ワイズ部屋を作るぞ！なんて思
い、億を超える借金をしても何とか成るやろーなんて思って、家を作りました
が、・・・ あれから、約20年、バブルがはじけ、借金の返済に四苦八苦しながら
も、ワイズの例会等には、欠かさず出席したものでした。例会場に行けば、又仲間
であるみんなに会える。仕事も忘れ、酒を酌み交わし、愚痴を言ったり、夢を語り合
ったものでした。それがエネルギーの源だったのでしょ。毎日がとっても充実して、
あっと言う間に20年が過ぎてしまったのでした。おかげで、今、日本中にワイズの友
が居て、毎日が楽しくて仕方ありません。

今、我クラブのメンバーは、十数名。みんな仕事に疲れきってしまったのでしょ
うか？少々元気が無いように見えますが、将来に不安を抱えているのですか？確かに、
この日本不安で一杯ですよ。だからと言って、他人のせいにして、それで良いので
すか？自分から行動を起こして、楽しい人生を送りましょうよ。ハワイにも新しい友
が出来ました。東京にも広島にも、友が居るではないですか。クラブのみんなが真の
友となり、かけがえの無い仲間となって、一生付き合っていく事の出来る友と成りま
しょう。そして、互いに酒を酌み交わし、愚痴を言ったり、夢を語ったりしましょ
う。

僕は思います。今僕たちに欠けているものは、コミュニケーションではないでしょ
うか。互いに語り合ひましょう。互いに汗を流し合ひましょう。そうすればきっと、
素晴らしい仲間になれると思います。お互いがお互いを思いやれる真の友と成りうる
事が出来ます。このプリンスクラブで出会った因縁を大事にして、一生涯の友と成り
ましょう。メネットもコメットも引き連れて、自分の地を出してやりましょう。かっ
こつけることなんか要りません。今日から新しい一歩を踏み出して行きましょう。き
っとその先には、どこにも負けない素敵なクラブに変身していることだと信じていま
す。この一年、みんなと一緒に歩んで行きたいと思っています。一緒に楽しみたいと
思っています。どうぞ皆さんのお力を貸してください。

7月例会案内

9日(土)
納涼例会

モリタ屋でのすき焼きで
今期はスタート。大いに
飲んで、プリンスの未来
を語りましょう。皆が一つ
と成る為に

20日(水)
定時総会

さあ、今期は25周年記念
事業を控えた期。気持ち
を引き締めて、総会に臨
んでください。

例会出席	
6月第1例会	12名
6月第2例会	12名
在籍者数	15名
出席率	93.3%
前回出席修正	

BFポイント	
切手	0pt
現金	0円
累計	25,430円

ニコニコ	
6月第1例会	0円
6月第2例会	0円
累計	59,500円

ファンド	
	0円
累計	314,4650円

強調
月間

Kick - Off EMC - C

メンバー一人ひとりの小さな一歩は、クラブの大きな一歩となるでしょう。
新しい自分の為、未来のクラブの為、まず一歩踏み出しましょう！！

大岩 英人EMC事業主任

今期の西日本区大会は、6月11日～12日の二日間ウェスティン都ホテル京都において開催され、960余名の参加者を数える盛大な大会となりました。京都での大会開催ということで、6月第一例会の振替例会としての扱いとなりました。

大会前日の10日には、今回IBC締結をするウエストオアフクラブの歓迎会があり、その盛り上がったテンションのままでの大会参加となりました。式典は恒例のパナーセレモニーで始まり、京都部各クラブ会長は、阪田京都部部長を先頭に入場されました。森会長も少し緊張気味でしたが、堂々とした入場でした。そして、仁科西日本区理事の開会宣言があり、ホストクラブ京都キャピタルクラブ会長の山田ワイズの挨拶、来賓からの祝辞と続きました。メモリアルアワーは、理事挨拶・理事報告を西日本区理事仁科ワイズより、一年間を振り返っての思いを話されました。次に各部長、各事業主任の報告があり式典は滞り無く終了しました。

懇親会は午後7時より始まりました。紋付はかまでの口上は、まるで歌舞伎のようで、ここは南座での口上かと思えばかりでした。会食は、BURAIの力強い和太鼓を中心に構成された舞台を、楽しみながらの賑やかな宴会となりました。ウエストオアフのメンバーは、ハワイのフラダンスの打楽器との違いを楽しんでおられたようです。でもハワイの子供たちにとっては、音の大きさ、力強さにカルチャーショックを受けたようで、その表情が印象的でした。

また、アピールタイムでは、25周年記念例会の案内チラシ第一報をアピール出来ました。12日は、早朝よりIBC締結の調印式、式典ではIBC締結クラブ締結式が、壇上で執り行われました。そして理事表彰では、ファンD事業BFポイント100%達成賞、EMC事業青年会員獲得賞、EMC事業出席率90%達成賞、交流事業優秀賞（BC締結）と四つの賞を受賞しました。森会長、メンバーの皆様、おめでとうございます。式典の最後には、大会実行委員長の石倉ワイズが、謝辞を述べられ閉会となりました。



IBC締結 ハワイ区 ウェスト オアフ クラブ

2011年6月12日
交流委員長 西村 博 ys



6月10日、ハワイからウェストオアフクラブのメンバー（コメット、マゴメットを含む）7人が来られ、夜に、祇園の『萬燕楽』で歓迎の宴を持ちました。森会長の歓迎の言葉（もちろん英語です）で、スタートし、我がプリンスのメンバーも英語を駆使してIBC交流の始まりです。久々に毛利ワイズも出席してくれました。各メンバーどんな話で盛り上がったのでしょうか？！二時間余りの楽しい時間もあつと言う間のことであつたと思います

6月11日、午後からハワイのメンバー、プリンスのメンバーそれぞれ西日本区大会に出席です。パナーセレモニーで始まる大会に参加し、夜の懇親会で多くのワイズとの交流を深めました。その後、ウェスティンの一室にてDBC交流会を開きました所、東広島のメンバー、東京サンライズのメンバー、ウエストオアフのクラブメンバー、そしてオアフとIBCを締結している広島クラブのメンバー等総勢30人もメンバーが集まってくれ思いがけず賑やかなDBC交流会となりました。これこそがワイズなのではないでしょうか？！

6月12日午前8時、西日本区理事仁科様、平野交流事業主任ご両名の立会いの下、ウェスティン都ホテル竹の間において、目出度くウエストオアフクラブとのIBC締結調印式を執り行ないました。思えばウエストオアフクラブとの最初の出会いは、大阪センテニアルクラブ藤原ワイズのご紹介で4年前に京都にこられた時でした。藤原ワイズ曰く、ハワイのクラブとのIBC締結は、多分どのクラブにとっても今が最後のチャンスではないかとの事でした。是非IBC締結が実現できればとの思いが生まれ、それ以後森会長と私交流委員長西村が計4回ハワイのウエストオアフクラブを訪問して、締結に向けての下準備をしてきましたが、無事この日を迎えられ大変嬉しく思っています。

メンバーもご存知の通り我がプリンスクラブは台中エバーモアークラブとIBC締結をしていますが、現在、エバーモアークラブは活動を休止しているようなので、ここ3年ほど音信不通の状態です。加えて、台中のメンバーはほとんどの方が中国語以外お話しになりませんので意思の疎通がなかなか困難です。言葉の問題はIBC交流にとっては大きな問題です。今回、ウエストオアフクラブとは、コミュニケーションが英語で出来るのでそれなりに？！OKですし、メンバーが日系三世の方が多く、考え方、習慣等が我々と似たところが多いように思いますのでよい交流が期待できそうです。今後、ウエストオアフクラブとのIBC交流が、互いのクラブの発展に少しでも活力を与えてくれれば幸いです。





6月25日(土)プリンスクラブは森会長から、岡西次期会長へ、ウェルクラブは上野会長から松田次期会長へのバトンタッチが行われました。今回の引継ぎ例会は、プリンスの子クラブに当たるウェルクラブとの合同の例会です。共にメンバ-数の減少に悩むクラブですが、2クラブ合同の上メネットの出席も有り、久々のにぎやかな例会でした。またウェルクラブに新たなメンバーの入会もあり来期に希望をつなぐことが出来る期の締めくくりの例会となりました。

今期、森会長はメンバー数の倍増を目標に掲げスタートしましたが、結果、プリンスクラブは、入会者は1名に留まりました。しかし退会者が無かったことがせめてもの救い。でも見方を変えると、現メンバーは、プリンスクラブに在籍することに対し、何か意味合いを持っていると考えているのだと思います。僕も今期の始めに、知り合いの漢方薬局店の主人をお誘いし、森会長にも良い人がいると伝えていたのですが、家族の理解が得られないという理由で、やんわりとお断りになりました。(僕の説明不足も有ると思いますが)やはり、最初のハードルの高さを実感します。知名度の低さゆえ、何か怪しい団体と思われるのかも知れません。しかし、今期より新たに始まったマイマイさんに対するCS事業が定着すれば、プリンスの新たなアピールポイントが出来、共感してもらえ方も増えると思います。

確かにメンバー数は多いに越した事は無いと思いますが、こんな時代なので広く浅くより、狭く深くクラブライフを充実させるのも良いかも知れません。あせればあせるほど墓穴を掘るような気がします。自らのアピールにこだわるより時代の流れにアンテナを張って地道に取り組みれば自然と周りが評価してくれると思います。両クラブの来期の発展を祈念して乾杯しましょう。

6月25日、プリンスクラブとウェルクラブの合同引継例会が行われました。まずはプリンスクラブ森会長、森会長メネット、ウェルクラブ上野会長の3名が軽快な音楽と共に手をつなぎスキップでの入場。そして会場の雰囲気が一気に明るくなったところで森会長の開会点鐘と共にスタートしました。両会長の挨拶、来賓のパレスクラブ山本会長の御挨拶の後、ウェルクラブの入会式を行いました。新メンバーは小田直美さんといい、細やかな気遣いの出来る心優しさの中に男らしさ?を持っている素敵な女性です。皆様どうぞ宜しくお願い致します。続いて和やかな食事の後スライド上映。楽しいアナウンスと共に皆さん1年を振り返りながらワイワイガヤガヤ盛り上がりおられました。その後、両クラブの各表彰式が行われ引継式に移りました。プリンスクラブは森会長から岡西新会長へ、ウェルクラブは上野会長から松田新会長へ厳肅な面持ちでバッチ交換が行われ、次期に向けての引継をされました。1年前は自分の入会式の事で頭がいっぱいで緊張していた事しか覚えていませんが、今回2回目の引継例会に出席をし、ワイズメンとして自分に出来る事は何か、しっかりと考えていかなければならないと身を引き締めた1日になりました。

東広島クラブ便り

今期財満さんが会長を引き受けて下さり、先日の役員会で楽しい例会を持つとうということで、色々案を出して下さり、7月は納涼例会でピアノ演奏を入れメンバ-以外の方にも呼びかけよしんばメンバ-増強に繋がればと、取らぬ狸の・・・を考えています。8月はインドのBF代表を囲んでの例会にしたいと思っています。兎に角今期は会員増強に専念していきたいものです。今期もよろしくお願ひいたします。

東京サンライズクラブ便り

6月の第二例会はお散歩例会でした。昨年9月に西武線の玉川上水駅から中央線の武蔵小金井駅まで玉川上水を歩いた第二弾として、武蔵小金井から井之頭公園(中央線の吉祥寺駅)までを歩きました。幸い梅雨の中休みで雨にも降られず、と言ってピーカンの晴天でもなく、歩きやすい一日でした。その後、恵比寿駅の近くのフレンチレストランで、富士五湖クラブに転会する原さん夫妻の送別会を兼ねて打ち上げを行いました。お散歩例会では初めてのレストランでの打ち上げで、ちょっといつもとは勝手が違いましたが、料理とワインを楽しみながらの楽しいひと時を持つことができました。

東日本大震災直後、ある避難場所で行われたレクリエーション・プログラム中に、突

然、一人の子どもが家族を失ったことを話しました。私は一瞬ハッとして、話題を変えて気持ちをそらせるのがよいのか、そのまま話を聴くのがよいのか悩んでしまいました。

いま、子どもたちは生活基盤である家がない、仕事がないという状況で大きな不安を感じている家族の気持ちを、敏感に感じ取っています。そして、「がんばっている姿を見せて、まわりの人を安心させよう」と、多くのことをがまんしています。

本来、子ども時代には、その時々に応じて「かなしい」とか「うれしい」という気持ちを持つこと、そして、悲しい時、つらい時に思いっきり泣き、楽しい時に心から笑うことが自然であり、必要です。その時に、いっしょに悲しんでくれたり、笑ってくれたりする人がいることで、一人ではないと安心したり、未来に希望を持つことができるのだと思います。それは、子どもたちの将来にわたる生き方の礎、人格の形成にも大きな意味をもちます。

私たちには、いま、子どもたちに寄り添い、つながって、喜びや感動、そして時には痛みや悲しみをも共有することが、求められているのではないのでしょうか。心に痛みを持ち、悩み、希望が見出せず小さくされた人びと、すなわち「憂えている人」のそばにそっと寄り添うことを意味する「優しさ」が必要であり、この「優しさ」を確実に届け続けることが私たちの使命ではないかと信じます。

私たちYMCAが大切にしている「キャンプ」には、多くの可能性と喜びがあり、大きな価値を生み出すものであります。キャンプで「人は変えられます」。この夏、全国のYMCAでは被災地の子どもたちやそのご家族をキャンプに迎え、私たちは研鑽を重ねつつ、3年、5年、10年とかかわり続けることを通して、共に歩みたいと願います。

1. リーダー研修が始まりました。

大学生ボランティアリーダーに1回生48名が登録し、実行委員会のもとトレーニングが始まりました。6月4日～5日リトリートセンターにおいて一泊二日で新人、経験リーダー124名が、経験に応じYMCA理解、リーダー論、グループワーク、発達障がい理解、現代社会の諸問題、食の安全などの研修を行いました。今後、救急法や発達障害、キャンプなど専門別トレーニングを受けながらそれぞれの配属に応じ、子どもたちのリーダーとして活動を始めます。リーダー養成のための奉仕活動基金への募金よろしくお願いたします。

2. 2011年度定期総会が開催されました。

5月28日会員定期総会が開催されました。予算、決算、事業計画、事業報告のほか、日本YMCAリーダー認証や各ワイズメンズクラブ会長への感謝状贈呈がありました。

3. YMCAサマープログラム参加者募集中!

YMCAでは今年の夏も、子ども達のための楽しいキャンプやスクールを準備しています。全てのプログラムは、まずはお電話にてお申し込みください。各プログラム定員になり次第キャンセル待ちとなります。キャンプ・デイキャンプ 電話075-231-4388
短期集中スイミングスクール、鉄棒・とび箱が好きな教室・幼児わくわく運動教室 電話075-255-4709

4. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ 第54回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 7月16日(土) 午後7時～9時

場所 京都YMCA 参加費 お一人300円

お申込は京都YMCA 電話(075)231-4388

または vb@kyotoymca.or.jp

5. リトリートセンター ホタルのゆうべ

皆様でバーベキューをしながら、リトリートセンターのホタルを鑑賞して初夏の夕べを楽しみましょう。

日時7月2日(土)午後7時～9時30分(雨天中止 当日午前9時判断)

集合・解散 リトリートセンター(宇治市二尾宇川)

参加費 おとな(中学生以上)2,000円・小学生1,800円

幼児1,300円 バーベキュー代含

ご希望の方はご宿泊もいただけます・要別途料金

お問合せ・お申込は 京都YMCAリトリートセンター事務局 電話075-231-4388

Happy Birthday

July

2日 小野 敏明

今月のスケジュール

7月

8日(土) 京都部ファンド懇談会
9日(土) 納涼例会 モリタ屋
10日(日) サバエワーク サバエキャンプ場
13日(水) 三役会 会長宅
20日(水) 定時総会 グランドプリンスホテル
22日(金) 京都部メネット懇談会
27日(水) 役員会 京都YMCA
29日(金) 京都部EMC懇談会

役員会報告

<承認された議案>

納涼例会登録費 メン:2千円 メネット:4千円 ゲスト:7千円 ウエル:5千円
定時総会配布資料の内容

編集後記

今回は、Web主体のブリテンから、発刊物としてのブリテンへとイメージチェンジを企てておりますが、新期7月号の発刊時期には間に合わず、ひとまず7月号は、従来通りでの発刊を行い、後日ニューフェースにて配布する所存です。また、クラブ事業もウエルクラブとの合同で行っている場面も多々あるので、ブリテンにおいても併合版として発刊させていただきます。

今回は、我がクラブが設立25周年を迎えるにあたって、ブリテンの巻頭記事として、歴代の会長さんに振り返っていただき投稿していただけたものを掲載する事にしました。ご期待ください。

ブリテン担当 森伸二郎